



発行所

一般社団法人 全日本木材市場連盟
 編集・発行人 柱本 修
 東京都文京区後楽 1-7-12
 〒112-0004 林友ビル6階
 電話 03(3818)2906
 FAX 03(3818)2907
 毎月1回1日発行
 定価・年3,000円
 (会員は会費に含まれています。)

新年のご挨拶

一般社団法人 全日本木材市場連盟
 会長 守屋 長光



新年あけましておめでとうござい
 す。平素より当連盟の運営につきまして、
 格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げ
 ます。

さて、昨年は、大阪・関西万博が開催
 され、大屋根リングをはじめ多くの国の
 パビリオンにおいて内装や外装に木材が
 使用されたことが大きな関心を集めまし
 た。SDGsへの関心の高まりから、木
 材を使用することが世界的にも当たり前
 の時代になってきたと感じています。海
 外からの旅行者に我が国の木の文化に触
 れていただいたことも大きな意義がある
 と考えています。また、昨年の夏は、全

国的に記録的な猛暑となり、温暖化対策
 の緊急性、2050年ネットゼロ実現の
 重要性を改めて認識いたしました。

経済面では円安や諸物価の高騰が長引
 き生活に影響を及ぼしています。世界に
 目を向けると、米国の貿易政策の急変や
 中国経済の減速、欧州や中東の不安定な
 政治情勢等、先行きが見通しにくい状況
 となっています。

我が国の新設住宅着工戸数は、建築基
 準法改正の影響等により、3月に一時的
 に増加しましたが、その後は低迷が続き、
 厳しい状況が続いています。本年は、所
 得の改善、物価高騰の収束により住宅需
 要が回復することを期待しています。

一方、近年、公共建築物やオフィスビ
 ル等に木材を見せる建築が採用されるよ
 うになってきました。今後は着工戸数の
 多い店舗や低層の集合住宅等に一般流通
 材を使った木造建築を普及させることが
 重要です。最近では、木材に人をリラク
 スさせる効果があることも注目されてお
 り、木材利用に対する評価が変化してき
 ています。また、供給面では、不安定な
 海外情勢に影響を受けにくい国産材の供
 給体制を構築することが求められています
 す。このような期待に応えるため、木材
 市場はサプライチェーンの強化に努め、

需要に応じた木材を適時かつ安定的に供
 給できるようにしていくことが大切に
 します。

今年は1月1日に取引法が施行され、
 また、昨年11月には、林野庁により「林
 業・木材産業における適正取引推進ガイ
 ドライン」が策定されました。木材製品
 を持続的・安定的に供給していくために
 は、サプライチェーンの各段階における
 価格転嫁に業界全体で取り組むことが求
 められています。

全市連も「森の国・木の街」づくり
 宣言」に参画いたしました。木材市場と
 いたしましては、情報の収集・提供に努
 め、価格形成・集荷・需給のコーディネート
 ネット等の機能を発揮し、林業・木材産
 業関係の皆様とともに、木材利用の促進、
 山元への利益還元を通じて、「伐って、
 使って、植えて、育てる」森林資源の循
 環利用と木材の安定供給に努める所存で
 す。

皆様方の益々のご健勝とご多幸をご祈
 念申し上げますとともに、変わらぬご支援
 とご協力を賜りますようお願い申し上げ
 げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

令和8年 年頭所感

林野庁長官 小坂 善太郎

新春を迎え、謹んで新年の御挨拶を申
 上げます。

昨年は、2月下旬から3月にかけて岩
 手県大船渡市を始め各地で発生した大規



模な林野火災や8月上旬の九州地方にお
 ける大雨など、大災害が全国で発生しま
 した。亡くなられた方々の御冥福をお祈
 りするとともに、被災された方々にお見
 舞いを申し上げます。また、被災地で復
 旧・復興に御尽力されている関係者の皆
 様方の御努力に敬意を表します。

林野庁としても、被災地の一日も早い
 復旧・復興に向けて全力で取り組むとと
 もに、昨年6月に閣議決定された「第1
 次国土強靱化実施中期計画」に基づき、
 防災・減災、国土強靱化のための森林整
 備や治山対策を一層推進してまいりま
 す。

また、社会問題化しているクマ被害対
 策については、昨年11月に決定された「ク
 マ被害対策パッケージ」に基づき、林業
 従事者等の安全確保の徹底を図るとも
 に、中期的な対策として生育環境の保
 全・整備に向けた針広混交林化や広葉樹
 林への誘導、堅果類の豊凶調査などに取
 り組みます。

先人の努力により戦後造成されてきた
 人工林の約6割が50年生を超え、利用可
 能な資源となっており、これを「伐って、

使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を確立し次世代に引き継いでいくことが重要です。近年、地球温暖化や生物多様性といった地球規模の環境問題が注目される中、これらの課題は森林が大きく関わっており、多くの企業が森林の循環利用に関心を持ち協力したいと考えています。このような流れも追い風にしたいと考えております。

林野庁では、人工林資源の循環利用に向けて、路網の整備や再造林の省力化・低コスト化、スマート林業の推進、原木・木材製品等の生産体制の強化、JAS構造物やCLTの活用による木材の需要拡大、多様な担い手の育成・確保など、総合的な取組を進めてまいります。引き続き花粉症対策についても、スギ人工林伐採重点区域におけるスギ人工林の伐採・植替えなどの取組を進めます。

森林の循環利用に欠かせない国産材の需要拡大に向けては、人口減少社会を迎える中、木材需要の多くを占めてきた住宅分野での木材の利用促進に加え、非住宅・中高層建築物の木造化・木質化を進めることが重要です。昨年の大阪・関西万博では「大屋根リング」や各国パビリオンに多くの木材が利用され、木材利用の機運が高まりました。さらに令和8年度からは、環境省と連携し、温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度（SHK制度）において、事業者が自らの排出量の算定に、木材利用等による炭素蓄積変化量を用いることができる仕組みの導入を予定しています。また、国土交通省に

おいては、建築物のライフサイクルカーボンの削減に向け、令和10年度を目途に建築物のLCCO2評価の実施を促す制度の開始を目指して検討を進めており、林野庁も木材の省CO2効果が評価されるべく検討に参画しています。こうした中で、林野庁では、これらの仕組みを活用して、特に企業の社屋や店舗など非住宅分野での木材利用を進めるべく、昨年10月から、自治体や企業による木材利用の促進とその効果の「見える化」を進める、「森の国・木の街」づくり宣言」に参画する方の募集を行っています。

本年は森林・林業基本計画の変更年です。現行基本計画に基づく施策の実績や森林・林業・木材産業の現状を踏まえ、本年6月頃を目途に新たな基本計画を策定すべく、確実な再造林や生物多様性・林地保全に配慮した森林整備、木材の価値を最大化する流通・加工、都市等における木材利用の拡大、林業・木材産業の持続可能性やコスト構造に関する情報の伝達・共有などを主な論点として検討を進めています。森林・林業・木材産業には様々な課題がありますが、課題の先には大いに可能性があると考えています。森林・林業・木材産業の未来に希望を持っていただける基本計画となるよう、現場からの意見も踏まえながら検討を進めます。

林野庁としては、これらの取組を通じて森林・林業・木材産業を持続的に発展させていくとともに、我が国に暮らす全ての皆様が森林の有する多面的機能の恩恵を

恵を末永く享受できるよう、日々邁進していく所存です。本年も、関係者の皆様、そして国民の皆様の御協力をお願いいたします。

結びに、本年が、皆様一人一人にとって実り多き素晴らしい一年になりますよう、心よりお祈り申し上げます。

年頭の挨拶

一般社団法人 全国木材組合連合会
会長 菅野 康 則



新年あけましておめでとうございます。年頭に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

さて、私たちを取り巻く社会・経済情勢は、今更申し上げるまでもなく、国内外ともに、引き続き大きな変化の中にあります。木材産業では、少子高齢化や住宅価格の上昇等により、戸建て住宅の着工が減少するとともに、コストの増高等の影響から、大変厳しい経営環境の一年となりました。

反面、我が国の人工林資源は成熟期を迎え、合板、集成材、CLT等とはもと

り、製材においても横架材など大きな規格の製品でも品質を確保し、安定供給できる体制が整ってきています。また、「都市（まち）の木造化推進法」のもと、都市部においても木造による中高層ビル、商用・事業用施設等の建設が全国各地で着実に進んできています。

このような木材需給の活性化の機運を迎える中で、「2050年カーボンニュートラル」の実現、持続可能な森林資源の循環利用、地域経済への貢献など、社会・経済からの様々な期待に応えるため、「伐って、使って、植えて、育てる」のスローガンの下、林業・木材産業が新しい時代にふさわしい一年を迎えられるよう祈念しています。

このためには、国産材製品の品質や生産技術の向上、需要に即応したサプライチェーンの構築、木材の利用拡大などに取り組んでいきたいと考えています。また、昨年は改正「クリーンウッド法」が施行されたことから、合法性が確認された木材のみを流通させる義務を負うことを、我々、木材事業者はしっかりと認識していかなければなりません。

全木連といたしまして、木材を優先する社会（ウッドファースト社会）の実現を目指し、一層努力して参りますので、皆様方の更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

本年が皆様方にとりまして素晴らしい一年となりますことをご祈念申し上げます。

令和8年 年頭所感

林野庁木材産業課

課長 福田 淳



令和8年の年頭に当たり、謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

(一社)全日本木材市場連盟並びに会員各位におかれては、日頃より、木材市場の運営により、国産材の安定供給に力添えを賜っておりますことに、厚く御礼申し上げます。

さて、我が国の森林資源は、本格的な利用期を迎えており、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けて、「伐つて、使つて、植えて、育てる」森林資源の循環利用のサイクルを確立することが課題となっております。

特に、近年では、経済界を中心に、SDGsへの貢献の観点から、木材利用への期待や関心が高まっています。建築物等への木材利用は、森林が吸収した二酸化炭素を長期間貯蔵するだけではなく、伐採後の再造林により、次世代の森林を育成すれば、吸収量の更なる増大にもつながります。

このような中、林野庁は、昨年10月から、全国で街の木造化を進める「森の国・木の街」の実現に向けて、「森の国・木の街」づくり宣言に参画する企業・自治体の募集を開始しました。

この宣言は、建築物の木造化や、木材利用の効果の「見える化」を通じて、森林資源の循環利用を進め、地球温暖化の防止や地域の活性化を目指すことを宣言していただくものです。多くの皆様からの御賛同を得ることにより、木材利用の機運を一層高めていきたいと考えております。

また、我が国では、「成長型経済への転換」の実現に向けて、政府全体で価格転嫁・取引適正化を推進しており、本年1月1日から、サプライチェーン全体で適切な価格転嫁を定着させる「構造的な価格転嫁」の実現に向けて、「取適法(改正下請法)」等が施行されました。同法では、新たに、対象取引において、協議に応じない代金決定等が禁止されます。

特に、林業・木材産業では、各種コストの上昇が続く中、木材需要の減少等によりコスト上昇を価格に転嫁しにくい状況にあります。

このため、林野庁は、昨年11月に「林業・木材産業における適正取引推進ガイドライン」を策定しました。同ガイドラインでは、林業・木材産業に関連する取引を13項目に分類し、それぞれについて、問題となり得る事例や関連法規の留意点、望ましい取引の在り方等を整理しました。

事業者の皆様におかれては、発注者・

受注者それぞれの立場で本ガイドラインを活用することにより、価格転嫁や取引適正化に取り組んでいただけるよう、ご協力をお願い致します。

さらに、本年4月から「改正物流効率化法」が全面施行され、新たに、一定規模以上の荷主に対して定期報告等の義務が課されます。木材市場は「荷主」に該当しますので、取引規模に応じて、適切な取組を進められるよう、ご準備をお願い致します。

林野庁では、関係者の皆様が、木材産業を取り巻く環境の変化に十分対応できるよう、川上から川下まで幅広い施策を進めて参ります。会員の皆様におかれては、引き続き、国産材の安定供給体制の構築にお力添えを賜りますよう、宜しくお願い致します。

最後に、本年が皆様にとって実り多き一年となりますことを祈念して、年頭の御挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

林野庁業務課企画官

(国有林材安定供給担当)

大道 一 浩

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。全日本木材市場連盟の皆様には、日頃より国有林野事業の推進に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年、林野庁ではおおむね5年ごとに



見直す「森林・林業基本計画」を変更する年にあたり、6月頃を目途に策定していくこととしており、国有林野についても森林の管理及び経営施策の具体的な方向性を盛り込む予定です。現在、国有林野では、令和5年12月に策定した「国有林野の管理経営に関する基本計画」において公益重視の管理経営の一層の推進や森林・林業施策全体の推進へ貢献を行うべく施策を推進しているところです。我が国の森林面積の3割、国産材供給量の1割強を占める管理経営を通じて、今後の森林経営や木材供給の姿を国自らが示していくことが引き続き重要という認識の下事業を進めています。

昨年11月に公表された令和6年の木材需給率は42.5%で前年(43.0%)に比べ微減したものの、建築用材では国産材比率が5割を超えており、木材市場に対する影響力は高まっているのではないかと考えております。また、国内工場における国産原木の割合も8割を超えてきています(国内生産製品における国産材の割合、製材用材81%、合板用材94%、丸太ベース令和5年)。

昨今の木材需要の動向は新設住宅着工

床面積は減少傾向が続いており、さらなる需要先の確保などにより、製材や合板用材を始めとする国産材の需要拡大を目指すことが重要なのはいうまでもありません。

本年、国有林野事業においては、生産・販売の分野では、①需給バランスの確保に向けて、引き続き、民有林・国有林を通じて安定的な木材供給や国有林材の供給調整の推進、②樹木採取権制度等において、需給に応じて、より柔軟に販売できる仕組みの検討、③持続可能な木材取引に向けた地域毎の相場観形成に資するよう、すでに実施している立木販売結果の公表について、民有林関係者にとって、より利便性の高い公表方法の検討などを進めていくこととしております。

このような中、我が国の木材供給の下支えとしての国有林の役割を果たすとともに、各地域の需給状況に応じた供給調整などに適宜適切に取り組むことで「森の国・木の街」づくり向け、地域の林業・木材産業全般の発展に貢献していまいります。

今後とも、国有林野事業の特性を活かし、時宜を得た的確な国有林材の供給となるよう取り組んでまいりますので、川上から川下までの関係者をつなぐ要である皆様の一層のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

最後に、全日本木材市場連盟と会員の皆様の益々のご発展とご健勝を祈念申し上げます。

■東京木材相互市場でつくば銘木展開催

つくば銘木協会（茨城県つくば市、大島健二会長）は令和7年11月26日、東京木材相互市場つくば銘木市場（西村信洋社長）にてつくば銘木協会結成10周年全国優良銘木展示即売会を開催した。多数のケヤキ大径優良材丸太が出品され、セリは大勢の参加者で活況を呈した。

展示品の表彰は、▽林野庁長官賞（株）山長銘木 △茨城県知事賞（株）吉田製材所 ▽つくば市長賞 山岸木材工業（株）、（株）片庭木材 ▽全市連会長賞 上総銘木、保坂久志男等合計13点。林野庁長官賞を受賞したケヤキ丸太は長さ6m、直径130cmの大径優良材であった。



競りの様子

■令和7年度クリーンウッド法に基づく合法性確認のための研修会を開催

令和7年11月11日、全市連、全買連、全木連、都木連が共催により、令和7年4月に施行された改正クリーンウッド法の改正内容の周知、合法性確認の具体的な方法等に関する情報提供を行う「令和7年度クリーンウッド法に基づく合法性確認のための研修プログラム」を木材会館（江東区新木場）において開催した。研修には85名が参加した。都木連の庄司良雄会長等から挨拶があった後、林野庁木材利用課 齋藤綾監査官から「改正クリーンウッド法の定着に向けて」と全木連井上康之企画部長から「改正クリーンウッド法と合法性確認について」改正クリーンウッド法の概要及び合法性確認とガイドラインに基づく合法木材証明制度」の講義が行われ、受講者は熱心に受講した。



研修会の様子

■木材アドバイザー養成講習会（建築士会CPD認定）開催のご案内

全市連では、木材を取り扱う方々等を対象に木の見分け方や基本的性質、木造建築に関する実践的な知識、日本の林業のほか環境問題や木材需給等の学んでいただくため、下記により木材アドバイザー養成講習会を開催します。定員は東京会場、大阪会場ともに40名程度です。今年度は東京会場は募集を終了しましたが、大阪会場はまだ受講を受け付けておりますので、ご参加をお待ちしております。日程は以下の通りです。

【東京会場】（募集を終了しました。）

令和8年2月6日（金）9：30～17：20、
2月7日（土）9：00～16：00

（於）砂防会館（東京都千代田区平川町2-7-4）

【大阪会場】

令和8年2月20日（金）9：30～17：20、
2月21日（土）9：00～16：00

（於）大阪木材仲買会館（大阪市西区南堀江4丁目18番10号）

受講料は、25,000円（受講料、テキスト代等を含む）

申込用紙は以下の全市連ウェブサイトに掲載

https://www.zennichiren.com/mokud/mokud_entry.html

【問合先】（一社）全日本木材市場連盟

文京区後楽1-7-2 林友ビル

TEL 03-3818-2906

FAX 03-3818-2907

謹んで新春の ご挨拶を申し上げます

令和八年 元旦



株式会社仙台木材市場

取締役会長 守屋 長光

代表取締役社長 及川 勝一郎

本社・市場

〒九八三〇〇三六

仙台市宮城野区苦竹二丁目七番三〇号

TEL 〇二二二二二二二二二

FAX 〇二二二二二二二二七

<https://www.s-itiba.com>

開市 午後一時三〇分

市日 第二・第四水曜日

北海道木材市場協同組合

理事長 加賀谷 雅治

〒〇〇二八〇五二

札幌市北区篠路町上篠路七七八

電話 〇一一七五七七五五

青森県森林整備 事業協同組合

(原木市場)

理事長 成田 剛

〒〇三〇〇九五五

青森市大字駒込字桐ノ沢一二九一

電話 〇二七四三三五四一

秋田中央木材市場株式会社

代表取締役
社長 工藤 茂丸

〒〇一〇〇九四一

秋田市川尻町字大川反二二二七

電話 〇一八八六三二二二二

FAX 〇一八八六三二二二〇

福島県木材市場 協同組合

理事長 鈴木 賢二

〒九六〇八〇四三

福島市中町五一八

TEL 〇二四一五三三三三〇七

FAX 〇二四一五二二一三〇八

福島県郡山地区木材製材協同組合

株式会社平木材市場

有限会社福島原木センター

南東北木材株式会社

協同組合奥久慈木材流通センター

株式会社ミトモク

代表取締役
社長 高井 陽介
本社 定例市日 一八日

本社 水戸市千波町一八八四

電話 〇二九一二四一一三二一代

日立営業所

日立市留町二四三五二六二
電話 〇二九四一五二一八三九代

株式会社 山形城南木材市場

代表取締役社長 安部 雄祐

定例市日 八・十八・二十八日

〒九九〇二二〇七

山形市表蔵王六〇一

電話 〇二三六八八二二〇〇

FAX 〇二三六八八二〇二二

株式会社 吾野原木センター

代表取締役
社長 鴨下 文明

定例市日 毎月五日・二〇日
針葉樹 毎月二日又は三日
広葉樹 毎月二日又は三日

〒三五七〇二二一

埼玉県飯能市大字平戸二〇三

電話 本社 〇四二一九七八二二八六

第二工場 〇四二一九七八二二三四

FAX 〇四二一九七八二二八七

株式会社 宇都宮総合木材市場

代表取締役 金子 利雄

定例市日 七・十七・二十七日

〒三二一〇四一四

栃木県宇都宮市中里町七一八四

電話 〇二八二六七四一七四八代

FAX 〇二八二六七四一四三八六

千葉県木材市場協同組合

代表理事 大竹 寛司

定例市日 毎週木曜日

〒二八三〇八二二

千葉県東金市山田八〇〇

電話 〇四七五二五五五五五

FAX 〇四七五二五五五五五

株式会社 吉貞

戸田市場 埼玉県戸田市本町1-23-1
電話 048-443-4321
FAX 048-442-5181
熊谷市場 埼玉県熊谷市中奈良1412
電話 048-523-3621
FAX 048-523-3628
佐野市場 栃木県佐野市免鳥町295
電話 0283-23-6311
FAX 0283-23-6359
高崎市場 群馬県高崎市飯塚町1150
電話 027-361-2477
FAX 027-363-4473

東京中央木材市場株式会社

代表取締役社長

飯島義雄

【酒井インター富里市場（本社）】

千葉県富里市新橋六六五ノ一

TEL 〇四七六―三七―五二五

FAX 〇四七六―三七―六五〇〇

【千葉木材センター】

千葉県四街道市吉岡四九六

TEL 〇四三―四三二―一七二

FAX 〇四三―四三二―〇〇一四

【千葉第二 木材センター】

千葉県成田市吉岡字東光台九六八

TEL 〇四七六―七三―二二二

FAX 〇四七六―七二―五四七〇

【葛西西中継センター】

東京都江戸川区東葛西一七―二二

TEL 〇三―五八七―八〇三五五

FAX 〇三―五八七―八〇三五六

住む人の心にしみる木の香り



桜井木材協同組合

〒633-0062 奈良県桜井市栗殿350番地
TEL 0744-42-3535 FAX 0744-43-2552ホームページアドレス
<http://www.sakurai-mokkyo.or.jp/>

ウッドメッセ奈良



桜井木材協同組合原木市売部

〒633-0048 奈良県桜井市生田713-1
TEL 0744-46-9539
FAX 0744-46-9571

桜井木材協同組合山林部

〒633-0048 奈良県桜井市生田713-1
TEL 0744-46-9539
FAX 0744-46-9571

桜井木材市場株式会社

〒633-0048 奈良県桜井市生田713-1
TEL 0744-42-3235
FAX 0744-45-5971

木材振興センター

「あるぼ〜る」

多目的にご利用いただける
イベントホール
レンタルスペース〒633-0062
奈良県桜井市栗殿355
TEL 0744-45-3955
FAX 0744-45-4741

株式会社 東海木材相互市場

代表取締役会長

鈴木和雄

代表取締役社長

上地浩之

本 社

〒四五六〇〇三三 名古屋市中区花表町二一
電話 〇五二―八八一―一五五一 FAX 〇五二―三〇八二
<http://www.kirakunet.com> E-mail info@kirakunet.com

西部市場 市日 毎週火曜日

〒四九〇一四四四 愛知県海部郡飛鳥村木場一七
電話 〇五六七―五五〇―一五五 FAX 〇五六七―五五―二五三八

大口市場 市日 毎週金曜日

〒四八〇〇一〇二 愛知県丹羽郡大口町河北二二
電話 〇五八七―九五―一〇一 FAX 〇五八七―九五―一〇五

サテライト美並

〒五〇一四一〇一 岐阜県郡上市美並町上田字小倉塚二五二六番一
電話 〇五七五―七九―五〇五五 FAX 〇五七五―七九―五〇六〇

サテライト名倉

〒四四一四四三三 愛知県北設楽郡設楽町東納庫ムカイ山一六番
電話 〇五三六―六三―三四五六 FAX 〇五三六―六三―三三三五
飛騨工場
〒五〇六〇〇三五 岐阜県高山市新宮町一二番地B
電話 〇五七七―三六―五四三九 FAX 〇五七七―三六―五九三九

株式会社 茨城木材相互市場

代表取締役会長

打越芳男

代表取締役社長

大谷知行

定例市日

本社 毎月十三日

〒三一〇〇八二六

茨城県水戸市渋井町五〇

電話 〇二九―二二―一三二二

つくば営業所 隔週木曜日

〒三〇〇二二六三

茨城県つくば市東光台五―三

電話 〇二九―八四七―四六二二

株式会社 太洋木材市場

代表取締役会長

樋口高良

代表取締役社長

樋口哲也

市売り日 二・十二・二十二日

本 社

〒七六〇〇〇五五

高松市観光通り二一〇一十五

電話 〇八七―八三三―二二二

FAX 〇八七―八三一―三〇四〇

高知営業所

〒七八一〇一一二

高知市仁井田新築四五〇三番地一

電話 〇八八―八四七―一七五二

FAX 〇八八―八四七―六七三二

プラスワンで住まいを創造する
株式会社 アサモク

代表取締役

多田 啓

本 社

〒八三八〇八二三

福岡県朝倉郡筑前町依井三六二二

電話 〇九四六―二四―六一二

秋月営業所 秋月木材センター

〒八三八〇〇一九

福岡県朝倉市上秋月一四四五番地

電話 〇九四六―二八―七八〇二

FAX 〇九四六―二八―七八二五

<https://www.asamoku.co.jp/>
info@asamoku.co.jp

<div>丸宇木材市売株式会社</div> <div>代表取締役社長 木曾川 靖一</div> <div>〒136-0071 東京都江東区亀戸 6-57-19</div> <div>TEL 03-6904-8141</div> <div>FAX 03-5628-3722</div> <div>市 日</div> <div>北浜市場(毎週木曜日)</div> <div>大栄浜市場(毎週水曜日)</div> <div>下館市場(毎週金曜日)</div> <div>京葉市場(毎週木曜日)</div> <div></div>		<div>株式会社 東京木材相互市場</div> <div>代表取締役社長 西村 信洋</div> <div>〒一七九〇〇八一</div> <div>東京都練馬区北町六丁目三二一三六</div> <div>電話 〇三三三九三三九四一八</div> <div>FAX 〇三三三九三三九四二六</div>		<div>東京新宿木材市場株式会社</div> <div>代表取締役社長 中村 司</div> <div>定例市日</div> <div>鶴ヶ島売場 毎週木曜日</div> <div>〒一五六一〇〇五七</div> <div>東京都世田谷区上北沢</div> <div>五丁目三七一八</div> <div>電話 〇三三三〇四一五三一</div> <div>FAX 〇三三三〇四一四三一五</div>			
<div>全日本木材市場連盟 北陸支部</div> <div>支部長 齊藤 豊美</div> <div>【加盟木材市場】</div> <div>株式会社富山合同木材市場</div> <div>(TEL 076-452-1155)</div> <div>株式会社高岡木材市場</div> <div>(TEL 0766-52-2131)</div> <div>富山県森林組合連合会</div> <div>(TEL 076-434-1750)</div> <div>福井県嶺北木材林産協同組合</div> <div>(TEL 0776-53-0221)</div> <div>福井県木材市売協同組合</div> <div>(TEL 0776-41-3730)</div> <div>福井県森林組合連合会</div> <div>(TEL 0776-50-0345)</div>		<div>東京木材市場株式会社</div> <div>取締役会長 市川 英治</div> <div>代表取締役社長 氏橋 武史</div> <div>〒一三六〇〇八二</div> <div>東京都江東区新木場二一八</div> <div>TEL 〇三三五二一七七一</div> <div>(代表 FAX 〇三三五二一七一五</div> <div>越谷センター</div> <div>〒三四三〇八四四</div> <div>埼玉県越谷市大間野町一三〇</div> <div>TEL 〇四八一九八九一〇二七</div>		<div>新東京木材商業協同組合</div> <div>理事長 近藤 藤嗣</div> <div>〒一七一〇〇四四</div> <div>東京都豊島区千早一〇二〇一三</div> <div>電話 〇三三三九五九一七八一</div> <div>FAX 〇三三三九五八一三五九二</div>			
<div>木曾官材市売協同組合</div> <div>代表理事 勝野 智明</div> <div>定例市日</div> <div>製品 月一回</div> <div>原木 月一回</div> <div>国有林土場活用委託 月一回</div> <div>萩原事務所 月一回</div> <div>坂下事務所 月二回</div> <div>〒三九九一五六〇四</div> <div>長野県木曾郡上松町正島町二一四五</div> <div>電話 〇二六四一五二一二四八〇(代</div>		<div>株式会社 横浜連合木材</div> <div>代表取締役 伊藤 元二</div> <div>〒二五三〇一一一</div> <div>神奈川県高座郡寒川町一之宮</div> <div>六一一二</div> <div>電話 〇四六七七三三〇〇七三</div> <div>FAX 〇四六七七三三〇二三〇</div>		<div>NICE ナイス株式会社</div> <div>代表取締役社長 津戸 裕徳</div> <div>(本社)</div> <div>〒二三〇八五七一</div> <div>横浜市鶴見区鶴見中央四丁目三番一号</div> <div>電話 〇四五二二一六一一(代表</div> <div>FAX 〇四五二二一六一〇七</div>			
<div>神戸木材市売協同組合</div> <div>代表理事 名田 健吾</div> <div>〒六五三〇〇三三</div> <div>神戸市長田区苅藻島町三一五二四</div> <div>TEL 〇七八一六八一三三四一(代</div> <div>FAX 〇七八一六八一三三四三</div> <div>フレカット事業部</div> <div>TEL 〇七八一六七一一八八六〇(代</div> <div>FAX 〇七八一六七一一八八五九</div>		<div>西垣林業株式会社</div> <div>代表取締役社長 西垣 雅史</div> <div>代表取締役副社長 西垣 貴文</div> <div>■桜井市場 千六三三〇六四</div> <div>■名古屋市場 千四六七〇八五</div> <div>■三重事業所 千五一八二〇四</div> <div>マルタピア 千五一八二〇四</div> <div>三重県伊賀市北山一五六〇</div> <div>美杉木材市場 千五一五二四二</div> <div>三重県津市美杉町八知五四二</div>		<div>松阪木材株式会社</div> <div>代表取締役会長 田中 善彦</div> <div>代表取締役社長 久保 寛</div> <div>定例市日 毎週水曜日</div> <div>本社 〒515-0088</div> <div>松阪市木の郷町 21</div> <div>TEL 0598-20-2323</div> <div>FAX 0598-20-1082</div> <div>ウッドピア市売 浜間屋</div> <div>TEL 0598-20-1616</div> <div>FAX 0598-20-1515</div> <div>ウッドピア21 事業部</div> <div>TEL 0598-20-1122</div> <div>FAX 0598-20-1127</div> <div>新潟営業所</div> <div>TEL 025-256-6000</div> <div>FAX 025-256-6600</div>		<div>鈴鹿木材株式会社</div> <div>代表取締役社長 森 啓介</div> <div>〒五一〇〇二六四</div> <div>三重県鈴鹿市徳居町四六一二</div> <div>TEL 〇五九一三七二二八〇八</div> <div>FAX 〇五九一三七二二七六五</div>	
<div>「木の目、木の肌、木の香り」</div> <div>活かして使おう国産材</div> <div>国産材専門の産地市場 美作材優良松・杉・松・その他</div> <div>市 日 素材 毎月本社 8 の日・新見支店 3 の日</div> <div>製品 毎週木曜日</div> <div>株式会社 津山総合木材市場</div> <div>代表取締役社長 武本 哲郎</div> <div>本社 〒708-0011 津山市上田邑 2880</div> <div>素材部・製品部 TEL (0868) 28-7777(代)</div> <div>FAX (0868) 28-7890</div> <div>新見支店 〒719-3811 新見市哲西町大竹 330</div> <div>TEL (0867) 94-3111(代)</div> <div>FAX (0867) 94-3555</div>		<div>株式会社 出雲木材市場</div> <div>代表取締役 三吉 庸善</div> <div>定例市日 月3回水曜日</div> <div>〒六九三〇〇二二</div> <div>出雲市上塩治町八九〇一</div> <div>電話 〇八五三二二一八五五</div> <div>FAX 〇八五三二二一三六〇二</div>		<div>石谷林業株式会社</div> <div>智頭原木市場</div> <div>代表取締役社長 石谷 樹人</div> <div>定例市日 月二回 開催</div> <div>〒六八九一四〇一</div> <div>鳥取県八頭郡智頭町市瀬一四三八一</div> <div>電話 〇八五八七五〇六三三</div>			

<p>丸幸産業株式会社</p> <p>代表取締役 社長 玉置雅敏</p> <p>〒七七〇〇八三二 徳島県徳島市寺島本町西 電話 〇八八一六〇二一〇五一一 FAX 〇八八一六〇二一〇五一一</p>	<p>株式会社 福山中中央木材市場</p> <p>代表取締役 社長 小林方之</p> <p>〒七二〇二二二四 広島県福山市神辺町川南 電話 〇八四一九六三一〇〇一一 FAX 〇八四一九六三一〇二二</p>	<p>真庭木材市売株式会社</p> <p>代表取締役 山下 薫</p> <p>本社 社 七七一九三三〇三 真庭市富尾一番地 TEL 〇八六七 四二二〇六〇二 FAX 〇八六七 四二二〇六〇〇 月田木材市場 七七一七〇〇二四 真庭市月田七四八六番地 TEL 〇八六七 四四一三三八一 FAX 〇八六七 四四一三三八一 https://manwa-ichuiri.com</p>	<p>株式会社 岡山木材相互市場</p> <p>代表取締役 岡本 剛</p> <p>本社 社 七七一〇二二二 岡山市南区藤田五〇〇 TEL 〇八六一二九六〇三〇六 岡山営業所 七七一〇二二二五 広島県福山市神辺町新徳田 TEL 〇八四一九六三三〇三〇 TEL 〇八四一九六三三〇三〇</p>
--	---	--	--

<p>伊万里木材市場</p> <p>代表取締役 伊東 貴樹</p> <p>本社 〒849-4252 佐賀県伊万里市山代町楠久津145番30 TEL 0955-20-2183 (代表) FAX 0955-28-2855</p> <p>ホームページ https://www.imarimokuzai.co.jp メールアドレス imamoku@imarimokuzai.co.jp</p>	<p>福岡営業所 〒824-0604 福岡県田川郡添田町野田 1927 TEL 0947-82-5010 FAX 0947-82-5011</p> <p>大分営業所 〒879-5413 大分県由布市庄内町大龍 1208-1 TEL 097-586-2210 FAX 097-586-2230</p> <p>南九州営業所 〒899-8606 鹿児島県曾於市末吉町深川 8866 番 TEL 0986-28-0228 FAX 0986-79-1777</p> <p>南九州営業所 第二土場 〒899-8606 鹿児島県曾於市末吉町深川 8515 番 TEL 0986-36-4880 FAX 0986-57-7607</p> <p>糸島事業所 木の駅「伊都山燦」 〒819-1563 福岡県糸島市高来寺 342 番 1 TEL 092-331-5020 FAX 092-331-5021</p>	<p>大木坑木有限公司</p> <p>宇和島出張所 大木木材市場 取締役所長 一宮 政文 (定例市日) 月 三 日 十四日・二十八日</p> <p>〒七九八二二二四 愛媛県宇和島市三間町増田三八九 TEL 〇八九五五八三〇三三 FAX 〇八九五五八三〇三三</p>
--	--	---

<p>株式会社 中津木材相互市場</p> <p>代表取締役社長 若松 定生</p> <p>定例市日 7日 23日</p> <p>〒871-0012 大分県中津市宮夫 250 TEL 0979-22-0145 FAX 0979-22-0115</p>	<p>肥後木材株式会社</p> <p>代表取締役社長 佐藤 圭一郎</p> <p>定例市日 11・27日 (本社) 8・25日 (人吉)</p> <p>本社 〒861-8012 熊本市東区平山町 2986-11 (T) 096-389-0022 (F) 096-389-8911</p> <p>人吉 〒868-0094 球磨郡相良村深水 2500-3 (T) 0966-35-0882 (F) 0966-35-0886</p>	<p>福岡市木材協同組合 福岡市木材市場</p> <p>理事長 伊藤 正隆</p> <p>〒八二〇〇〇七 福岡市中央区那の津三丁目十六一六 TEL 〇九二二七七一一五七九一 FAX 〇九二二七七一一三〇四四</p>	<p>協同組合 高知県木材市場連盟</p> <p>理事長 尾崎 徳七</p> <p>〒七八〇〇八二二 高知市天神町五番二七号 (株)オサキ内 TEL 〇八九八二二一六〇七二 FAX 〇八九八二二一六〇七二</p> <p>高知県木材株式会社 協同組合 高知県木材市場連盟</p>
---	--	--	--

全市連福祉共済制度のご案内

●制度の特長●

1. お手頃な掛金で大きな保障が得られます。
2. 業務上・業務外を問わず24時間保障されます。
3. 医師の診査はなく告知書扱いで加入できます。
4. 1年ごとに収支計算を行って、剰余金が生じた場合には配当金として還元されます

病気による場合		不慮の事故による場合		
死亡保険金	高度障害 保険金	死亡保険金 + 災害保険金	高度障害保険 金 + 障害給付金	入院給付金
一般コース(15~65歳)		400万円		140万円 ~ 20万円
200万円				1日につき 3,000円
悠々コース(66~70歳)		200万円		70万円 ~ 10万円
100万円				1日につき 1,500円

一般コース(15~65歳)		男性・女性	1,300円
悠々コース(66~70歳)		男性	1,500円
		女性	900円

都城原木市場株式会社

代表取締役 社長 原澤 久志

都城定例市日 二・一六日
小林定例市日 二・二六日

都城 千八八五〇〇三五
都城市立野町三八三三二
電話 〇九八六一二二一四八六五
小林 千八八六〇〇〇六
小林立大字北西方一七八八
電話 〇九八四二七二二〇二八

